



連絡先
小竹ひろ子事務所
文京区白山3-2-5
電話 3815-9301
FAX 3815-7663

「シルバーパスは低価格に。メトロにも使えるように」小竹ひろ子

二四、二五日は、文京区内の高齢者クラブの会長さん宅を訪し、「シルバーパス」と「補聴器と磁気ループ」のことで猪瀬都知事宛の要望書を持参しました。突然の訪問でしたが、要望書の内容ですぐ対話になり、皆さんの実情や悩み、切実な願いが直接伺え、訪問して本当に良かったと思います。シルバーパスでは「二万五〇〇円では高すぎる。もっと安い料金に」の声がお会いできた方の八、九割でした。私が「区内のメトロは5路線、都民の税金も投入しています。メトロもパスで」と話すと大半の方が「ぜひ、そうして欲しい」とのことでした。



難聴者支援に、磁気ループと補聴器助成を
文京区の高齢者クラブ50団体を訪問 小竹ひろ子

「私は難聴、妻は足が悪いので引きこもりになります」との声がありました。専門家から六五歳以上の高齢者で二割が難聴で悩んでいると聞いていました。が、こんどの訪問で「本当にそうなんだ」と痛感しました。「私の補聴器は〇〇万円もしたのよ」・「あまりの高額にびっくり。でも「周囲の音も拾うから長時間は使えない」そうです。公共施設や窓口に磁気ループの設置や補聴器の用意が必要です。」

シルバーパスも安価でメトロでも使えればいいですね。高齢者の皆さんが少しでも快適な暮らしができるように公的支援が必要です。

ひろ子かけ歩き活動日誌

「待機児童40万人のほとんどは認可で解消へ」
参議院議員訴え
根津・千駄木・向丘・弥生地域で演説会

根津の「ふれあい館」で、27日開かれた演説会で、金子輝慶区議がとりあげた「白ガス管の取替え」(地中埋設で管が腐食し亀裂が発生)は、根津千駄木向丘地域のような木造住宅密集地では本当に切実です。地震でもれたガスに引火したらどうなるのか・・・背筋が寒くなります。震災予防に全力への決意を新たにしました。

田村智子さんは、待機児童問題で「(待機児)40万人のほとんどは認可で(対応する)」の厚労相の答弁を引き出したのは、日本共産党都議団の奮闘ですと強調。都議団が「認可保育所に入れない児童数」を市区町村で調査した結果、待機児は6万人(当初は2万人)でした。杉並区では、発表は50数名、それが実際は1200人だったわけです。待機児童を少なく見せる国の姑息なやり方です。都民の運動と日本共産党の運動が共同すれば政治は変えられることを実感しました。



「受注できても工事が始められない」―小竹前都議
「契約済みでも発注単価の見直しを」―区長へ要望



四月二四日、私は文京区議会議員団のみなさんと一緒に文京区の瀧原副区長に「緊急要望」を行ないました。内容は、認可保育園増設、少人数学級教育、建設工事、浴場空白地域、白ガス管対策等です。建設業者の方から私に「区の仕事を受注できてもすぐには工事が始められないんです」と相談があり、人手不足と資材高騰の深刻さを知りました。私が、「契約時にさかのぼって単価の是正措置をとってください」と求めたところ、副

区長さんから「深刻な事態とうけとめていく」との回答が返って来ました。アベノミクスへの不安と投機マネーで資材が急騰してしまっています。区内で介護施設建設の入札が成立しないという話もでまじり。区は五九〇億円もの積みたて金の一部をすぐに生かすべきです。また、国保料の滞納者に「差し押さえ」の通知が出されています。私は、「払いたくても払えない区民も多い。子どもの学費関連を取り上げる」と等絶対ないようにと強く迫りました。